

秋田県
退職校長会

会報

題字 秋田師山 書

第 99 号

秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部
同窓会旭水會 内

令和4年7月30日 発行

秋田県退職校長会



学校教育のICT化に期待する

秋田県退職校長会会長 高橋 一郎

令和になって、世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症は、各方面に多大な影響を及ぼし、なおその勢いを拡大させています。時代の波なのでしょうが、大学のWEBタイプの授業に端を発し、最近の会議の形式もずいぶん様変わりしてきました。特に一昨年度あたりから在宅のまま会議に参加できるようになってきたわけです。東京などからの参加が求められる会議においては、コロナ禍のため同室での参加はまったく無理な状態が続きました。そして、秋田に居ながらも在宅あるいは職場から直接参加できるようになってきたのです。ZOOMカメラを駆使した、かつての会議からでは全く考えられないやり方に代わってきました。私はまだ、カメラを駆使した参加ができませんが、移行期と受け止め、いつかは在宅のまま参加できるようにになりたいものだと感じています。

会報98号に、これからの学校教育を考える「学校教育におけるICTを活用した取組について」が特集されました。秋田大学の林良雄教授や秋田県教育庁義務教育課、男鹿市立船川第一小学校佐藤和久校長、能代市立能代第一中学校佐藤克校長の特別寄稿が掲載されました。まず、ご協力に感謝申し上げますが、コロナ禍だけのための改革ではなく、全く新しいツールを駆使した学校教育の考え方が述べられていますし、学校からは具体的な授業実践が始まった様子が発表されて

います。行政からの財政的な支援や指導助言が具体化されたことは言うまでもなく、我が秋田において、「秋田型探究学習」をベースに置いた全く新しい授業形態が始まったと感じました。それぞれの寄稿には、コンピュータやタブレットなどのICTは非常に有効なツールであり、ICTを使えるようになることが目的ではなく、子どもの能力を向上させること、そのために教員の指導力の向上が、その必要性が、大きく取り上げられています。我々会員は、ICTが使えないからと目を背けるのではなく、どのように駆使されて、どのような効果を上げているかを見つめたいと思います。現職の校長先生や教員の方々にも、我々が理解者であり、支援者であること、応援していることを改めてお伝えしたいと思います。

我々退職校長会会員は、昔のことを昔のことと納めてしまうのではなく、変わりゆく世の中や教育界の姿を理解しつつ、あるべき姿を、教育の根幹を違えることがないように応援していきたいものです。

最近の会議の在り様を身近に感じてしまい、少しでも変わってゆく様相に合わせられるよう努力をしなければと思います。

ウインドウズ7の画面に縞模様ができ、限界かと購入したコンピュータに、カメラが付いていました。挑戦できるかと期待してしまいます。

■「先生は生徒の何を見る！格好や態度か、心か、どっちだ！」そんな問いをぶつけられたと思える出来事があった。担任の指示に従わず、一年間反抗的に生徒用机の上を走り回った生徒がおり、辛い一年間だったと前担任は話していた。新年度を迎え私がその生徒の担任になった。始業式の日、昼休みに椅子に足をかけ机に上がりポンポンと走って廊下に出た生徒がいた。これかと合点した。数分後、再び机を渡りながら戻ってきた。その生徒と教卓との距離が最も近くなり、目と目が合った瞬間、私の脳裏に冒頭の言葉が響いた気がした。生徒はまさに鬼の形相であった。生徒が無事窓際に降り立った瞬間、安堵と共に「全身で私に問いを発してきた。なんてすごい生徒だ。」そんな感動が私に湧き、思わず笑みを返したと思う。この生徒は、拒否しているのではない。逆に激しく近づいてくれているのだ。行為を叱る前に、その思いを聞き、応えたいと思った。私が感動したことが伝わったのだろうか、この生徒は翌日から机を走ることをやめ、クラスの素晴らしい一員となっていた。その生徒が何かのために教師に抗った姿とその思いに、しっかりと耳を傾ける大切さを学んだ出来事として忘れられない。

ひとつ



秋田県退職校長会
常任理事 古関 俊勝

「課題は

生じても」

■在職最後の年、秋田大学横手分校から「教育ミニミニ実習」の会場校の話があった。私は是非本校でとお願いした。事業の主旨は高校生に早い時期から教育の営みの難しさを認識する機会を提供するものだったが、中学校側の私は中学生にも希有な学びをさせることができるかと期待した。この事業では、中学三年生に対して僅か一歳差しかない高校一年生が授業する場を設定できた。三年生には、衆目の集まる緊張場面で必死に取り組む先輩の姿を目に収めて、自分は一年後どんな方向に力を注いでいるだろうか、これは他人事ではないぞと明日の自分に想いを馳せてほしかったのだ。一方、高校生には本校教員が深く関わった。

そもそも授業とは何かを高校生に伝える役割は至難の業だ。自らの仕事の理解がどれほどかに直面せざるを得ない。授業づくりは両者の作品であったのかもしれない。

■かつて「私は仮免許で指導に自信がありません」という数学の先生がいた。しかし授業は素晴らしかった。生徒と共に考えるという姿勢を貫き、生徒を主役にしていたからだ。

何か課題は生じても、子どもと教職員の両者が互いに、人への敬意をもって関わるならば、きっと道が拓かれるのではないか。

令和4年度新入会員の紹介(敬称略)

〔鹿角〕

田中 一良

〔大館北秋田〕

河田 弘幸

蛇川 真喜子

武石 祐子

片岡 俊仁

〔能代市山本郡〕

藤田 卓也

宮腰美喜子

保坂 公咲

〔男鹿市〕

高桑 博幸

〔秋田市〕

大友智加司

工藤 隆

〔由利本荘・にかほ〕

田口 良徳

畑中 剛

本間 光幸

木谷 玲子

〔大曲仙北〕

菅原 潔

嵯峨 康弘

佐藤 政美

木元 哲

〔横手市〕

佐藤 克己

村上 智子

菊池 康明

〔湯沢雄勝〕

阿部 洋一

根本 光泰

木下 隆

武石 弘美

六部 勇二

伊藤 亘

大久保喜徳

多賀谷雅人

高野誠一郎

齋藤 徹

石川 政昭

工藤 浩雪

佐藤 久男

金 博之

三浦 章久

伊藤 雅己

板垣 淳

坂本 晋平

木村百合子

藤田 睦代

高橋 雅己

高瀬 典穂

瀬田川 仁

福原 昭信

千葉 雅一

田口 雅人

伊藤 雄悦

森 茂樹

秋山 正毅

近藤 国義

佐藤 俊之

阿部 桂

近田 浩治

令和4年度
秋田県退職校長会
総会・理事会

書面決議にて承認される

令和四年五月六日（金）に
予定されていた令和四年度
秋田県退職校長会総会・理事
会は、新型コロナウイルス感
染防止の観点から、今年度も
一同に会しての開催は実施
せず、書面決議の形式で行わ
れました。

総会に付議する事項につ
いて、四月中に書面にて各理
事に送付・審議していただい
た後、その回答内容を反映さ
せた総会資料を全県の代議
員に送付し、同意書を返送
していただきました。その
結果、すべての議事は同意・
承認されました。

四月末から五月初めのあ
わただしい中、迅速に対応し
ていただいた理事、代議員の
皆様のご理解・ご協力に改め
て感謝申し上げます。

なお、令和四年度の役員は
下記のとおりです。

令和4年度 秋田県退職校長会役員一覧

◆県【事務局所在地】 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部「旭水会」内 TEL/FAX 018-831-2783

顧問	佐藤 重義	千葉 昭	佐藤 俊彦
会長	高橋 一郎		
副会長	望月 伸哉	安倍 武義	渡邊 義實 伊藤 栄二（会長職務代行者）
常任理事	伊勢 善和	伊藤 章	古関 俊勝 高田 均
理事	各郡市から1名（但し、秋田市から3名） 下記のとおり		
監事	工藤 誠（能代市山本郡）	八柳 知徳（男鹿市）	菊谷 隆志（横手市）
事務局長	米澤 喜彦		
事務局員	佐藤 淳 齋藤 透	茜谷 英也 工藤 隆	高橋 澄雄 工藤 絹子 石郷岡仁司

◆郡市【会員数】 1,567名（内名誉会員292名） R4.6.25 現在

退職校長会名	会員数	会長	副会長	県理事	代議員
鹿 角	69 (11)	望月 伸哉	下川原常雄	望月 伸哉	戸末 容子・吉田 啓一
大館北秋田	231 (38)	伊勢 善和	小笠原友行・菅原 朋雄 明石 勝美	伊勢 善和	小笠原友行・菅原 明雄 明石 勝美・佐藤 久生
能代市山本郡	186 (26)	須藤 幸紀	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫	須藤 幸紀	佐藤 道代・工藤 誠 牧野三千雄・淡路 敦夫
男 鹿 市	59 (8)	伊藤 章	木村 康子・浅井 繁樹	伊藤 章	木村 康子・浅井 繁樹
秋 田 市	254 (49)	高橋 一郎	伊藤 栄二・高田 均	羽川 誠眞 濱田 均	松山 郁子・松田 行正 斉藤 孝雄・大山 重幸 鎌田 寿和
由利本荘・にかほ	210 (36)	安倍 武義	佐々木 章・三浦 昌弘 三浦 律子・永田 修 菅原 耕悦	安倍 武義	三浦 律子・永田 修 菅原 耕悦・阿部 潜
大曲仙北	239 (55)	渡邊 義實	柴田 政幸・高橋 正彦 千田 文和・山崎 敏 小原 康	渡邊 義實	高橋 正彦・山崎 敏 小原 靖・佐藤 心一
横 手 市	199 (48)	古関 俊勝	菊谷 隆志・佐々木孝雄	古関 俊勝	菊谷 隆志・佐々木孝雄 石川真須夫
湯 沢 雄 勝	120 (21)	佐藤 朋夫	岡 光・大山裕一郎	佐藤 朋夫	佐藤 朋夫・大山裕一郎

令和3年度 会計決算書

収入総額 2,441,352円
 支出総額 1,756,892円
 差引残額 684,460円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	付 記
1. 負 担 金	2,025,000	1,941,000	-84,000	1,500 円×1,294 人
2. 特 別 協 賛 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	500,343	500,343	0	令和2年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	9	-1	預金利子
合 計	2,525,353	2,441,352	-84,001	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	100,000	60,351	-39,649	
(1) 総 会 費	30,000	39,771	9,771	資料等・資料送付切手代
(2) 理 事 会 費	30,000	2,940	-27,060	資料等送付切手代
(3) 監 査 会 費	20,000	17,640	-2,360	会場費・交通費等
(4) 幹 事 会 費	0	0	0	
(5) 事 務 局 会 費	20,000	0	-20,000	
2. 業 務 費	350,000	10,000	-340,000	
(1) 旅 費	300,000	0	-300,000	
(2) 慶 弔 費	50,000	10,000	-40,000	表彰者祝い金
3. 事 務 費	270,000	252,911	-17,089	
(1) 通 信 費	100,000	98,291	-1,709	会報等送料 発送用具等
(2) 消 耗 品 費	40,000	39,005	-995	紙 封筒 インク等
(3) 雑 費	25,000	13,793	-11,207	筆耕料・賞状用紙・引出硬貨料金
(4) 事 務 局 費	25,000	31,822	6,822	通帳用印鑑、事務局通信費等
(5) 報 償 費	80,000	70,000	-10,000	事務局会交通費
4. 事 業 費	1,090,000	915,630	-174,370	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	鹿角、男鹿、横手へ(各 20,000 円)
(2) 秋季研修大会費	80,000	0	-80,000	
(3) 調 査 費	10,000	0	-10,000	
(4) 会 報 印 刷 代	220,000	228,000	8,000	県会報印刷費(2 回)、原稿執筆謝礼
(5) 郡市連絡協議費	100,000	0	-100,000	
(6) 郡市研修活動費	270,000	258,800	-11,200	郡市へ200 円×納入者数(1,294 人)
(7) 「教育の日」活動費	120,000	168,830	48,830	「あきた教育の日」ポスター作成・発送費
(8) 郡市会長会会議費	30,000	0	-30,000	
(9) 記念事業準備金	100,000	100,000	0	特別会計へ(節目の年の記念事業経費)
(10) 東北大会準備金	100,000	100,000	0	特別会計へ(東北協議会秋田大会準備経費)
5. 負 担 金	560,000	518,000	-42,000	全国(400 円×1,295 人)
6. 予 備 費	155,353	0	-155,353	
合 計	2,525,353	1,756,892	-768,461	

令和4年度 収支予算書

収入総額 2,559,470円
 支出総額 2,559,470円
 差引残額 0円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	付 記
1. 会 費	1,875,000	2,025,000	-150,000	1,500 円×1,250 人
2. 特 別 協 賛 金	0	0	0	
3. 繰 越 金	684,460	500,343	184,117	令和3年度より繰り越し
4. 雑 収 入	10	10	0	預金利子
合 計	2,559,470	2,525,353	34,117	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1. 会 議 費	110,000	100,000	10,000	
(1) 総 会 費	40,000	30,000	10,000	資料等
(2) 理 事 会 費	30,000	30,000	0	資料等
(3) 監 査 会 費	20,000	20,000	0	会場費・交通費等
(4) 事 務 局 会 費	20,000	20,000	0	会議費等
2. 業 務 費	350,000	350,000	0	
(1) 旅 費	300,000	300,000	0	全連退、東北協議会他
(2) 慶 弔 費	50,000	50,000	0	慶祝・弔意、表彰
3. 事 務 費	270,000	270,000	0	
(1) 通 信 費	100,000	100,000	0	会報等送料 発送用具等
(2) 消 耗 品 費	40,000	40,000	0	紙 封筒 インク等
(3) 雑 費	25,000	25,000	0	筆耕料・謝礼 他
(4) 事 務 局 費	25,000	25,000	0	事務局通信費、コピー、印刷費等
(5) 報 償 費	80,000	80,000	0	事務局会交通費
4. 事 業 費	1,080,000	1,090,000	-10,000	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	大館北秋田、由利本荘にかほ、湯沢雄勝へ各20,000 円
(2) 秋季研修大会費	100,000	80,000	20,000	会場費・講師謝礼 資料等
(3) 調 査 費	10,000	10,000	0	調査等に係る経費
(4) 会 報 印 刷 代	280,000	220,000	60,000	県会報印刷費(2回)・関係資料代
(5) 郡市連絡協議費	100,000	100,000	0	郡市総会・郡市研修会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	250,000	270,000	-20,000	郡市へ200 円×納入者数(1,250 人)
(7) 「教育の日」活動費	50,000	120,000	-70,000	あきた教育の日関連活動費
(8) 郡市会長会会議費	30,000	30,000	0	交通費・資料等
(9) 記念事業準備金	100,000	100,000	0	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	100,000	100,000	0	特別会計へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負 担 金	520,000	560,000	-40,000	全国(400 円×1,250 人)・東北2 万
6. 予 備 費	229,470	155,353	74,117	
合 計	2,559,470	2,525,353	34,117	

令和3年度 特別会計決算書

収入総額	383,512 円
支出総額	0 円
差引残額	383,512 円

【収入内訳】

1	前年度繰越金	183,512 円
2	記念事業準備金	100,000 円
3	東北大会準備金	100,000 円
	合計	383,512 円

【支出内訳】

・支出項目なし

合計 0 円

※ 上記の残額 383,512 円については、別冊「特別会計」用の通帳に、貯金保管中である。

郡 市 だ よ り ～ 退職校長会に寄せる思い ～

鹿 角

「地域学校協働活動」とは？

田 中 寛

地域学校協働活動は、子どもたちの学びや成長を地域全体で支える活動です。保護者や地域の方々から参加いただき、「学校を核とした地域づくり」を目標にしています。

鹿角市では平成三十年度から地域学校協働活動に取り組んでいます。私は縁あって準備段階の学校支援地域本部の時から関わり、現在六年目を迎えています。

地域学校協働本部の活動を通して、学校と地域が双方向に連携・協働し、この活動が、子どもたちの健やかな成長をうながす一助となるよう努めていきたいと考えています。

学校の応援団として

田 中 一 良

四月から、会計年度職員として市教育センターに勤めており、余裕ある朝の出勤タイムにもようやく慣れてきました。もう一つ大きく変わったことは、スマホからの解放です。特に退職前の三ヶ月は、コロナ対応のため肌身離さないようにしていたのですが、今はすっかり携帯電話不携帯となっています。

コロナ禍は依然として終息の兆しが見えず、校長先生方は四六時中緊張を強いられていることは想像に難くありません。これからは、退職校長会の先輩と共に、学校の応援団として微力ながら尽力したいと思っています。

大館北秋田

第二の居場所に感謝して

根 本 光 泰

退職して約二カ月が過ぎました。四月から、初任者指導教員として五名の初任者の指導に関わっています。現役の時とは違う立場で学校現場を支える側にまわっています。退職後の生活設計は詳しく考えていませんでしたので、こうして日々勤務できることに感謝しています。退職校長会の皆様にはこれから大変お世話になります。どうぞよろしく願います。初任者は出身や経験の違いはありますが、誰もがチーム学校の一員として張り切って勤めています。私も少しでも初任者の力になれるようにがんばりたいと思います。

お世話になります

山 本 英 幸

退職の感慨に浸る間もなく、四月から初任研の仕事に携わらせていただいています。親子以上に年の差のある初任者との関わりはなかなか新鮮です。自分が初任者であった三十三数年前を思い出します。講師経験なく、大学を卒業してすぐの六年生担任は荷が重く、反省と懺悔の連続、胃が痛む毎日でした。誰もが理想と現実のギャップに苦悩する一年目です。成果の程度は心配ですが、これまでの私の経験が少しでもそんな後輩たちの背中を押すことができれば、そう考えている昨今です。先輩方には改めて、お世話になります。

能代市山本郡

人生百年時代を生きる

藤田 卓也

人生百年になると、退職後を、悠々自適に過ごすというのでは、老後が長くなります。また、これまで通りに働くと、一生働き詰めになりそうです。これまでの学び方、働き方、人生設計などを見直すことが必要なのですが、退職校長会の先輩方の働き方は、多様化していて、参考になります。柔軟で幅広い新しい働き方で、社会参加を続けていくことの素晴らしさを教えてくれます。こうした先輩方の姿をもとに、自分の働き方を考えてみると、好きなことや得意なことに熱中し、社会貢献で人の役に立つことが大切なようです。

微力ながら恩返し

伊藤 亘

四月から能代市教育委員会の適応指導教室「はまなす広場」に週四日勤務しております。アドバイザーや相談員の方々は子どもたちへの接し方や人柄が素晴らしく、心強いです。私は、一緒に勉強したり風の松原を散策したりして、子どもたちの心が少しでも元気になるように努めているところです。

学校勤務の頃、母校の子どもたちがお世話になっていた場所でもあったので、恩返しの意味でもがんばりたいと考えています。

退職校長会の皆様、近い将来お会いし、ご教示いただける日を心待ちにしております。

男鹿市

これまでも これからも

高桑 博幸

これまでたくさんの方々の先輩の方々には大変お世話になってきました。心よりお礼を申し上げます。

教育関係に携わることができた三十七年。様々な思いをもちながら、その色や形、放つ香りは別として、「置かれたところで咲きなさい。」を心がけてやってきたようなところがあります。

四月からは初老の私生活の充実を目指して活動内容や範囲を考え、どのように迫ろうかと計画したいところですが、こうしているうちに時が過ぎ去ってしまいそうです。

これからもご指導のほどお願い致します。

男鹿市退職校長会に入会して

鏡 長光

原稿依頼の内容である「新入会員の抱負」の言葉に戸惑いを隠せないほど、再任用としての現在の状況は、多忙化防止とかけ離れたものであります。自分では若いつもりでも、教務主任として仕事が回らない様子を見かねて、「先生、少し休んだ方、いいや。」と声をかけられる毎日です。「なにぶん十三年振りのもので…」と答えるのが精一杯の強がりになります。今しばらくは二年生から六年生までの計八クラスで授業ができることを楽しみたいと思います。

秋田市

新しい出会いに

大友 智加司

教職生活を終え、農作業小屋に高く積み上げたボール箱を整理しました。職員会議や研究関係、学年便り等、たくさん紙物資料との再会がありました。その時々を懐かしく思い出しながらも、再生紙として「さようなら」をしました。

四月からは、秋田市役所で環境学習を担当しています。前任者の残してくれた貴重な財産を基に、各校の子どもたちとの新しい出会いに喜びを感じながら、楽しい時間を過ごしています。退職校長会の皆様、これからどうぞよろしく願います。

第二の人生スタート

工藤 隆

新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮しながらも、多くの方々からのご支援とご協力をいただき、無事に退職を迎えることができましたことに感謝しております。四月からは子どもたちの心の居場所づくりを目指す仕事に就き、気持ちを新たに毎日を送っています。

退職校長会には、お世話になった先生から声をかけていただき、迷うことなく入会させていただきました。これからは、会員の皆様の生き方や考え方を伺いながら、第二の人生を有意義に過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

由利本荘・にかほ

第二の人生を健康で楽しく

田口良徳

退職校長会総会に出席し、ご指導いただいた先生方を前に、会の一員となることに身が引き締まる思いでした。今後は、校長会の活動に少しでもお力になればと思います。

さて、総会では米田前教育長様が講演され、「今日は人生で一番若い日」と話されました。人生の半分以上が過ぎましたが、お話を伺い、人生まだまだこれからとの意を改めて強くしました。退職後も教育界の動向には関心を持ちつつも、よりアクティブに様々なことにチャレンジし、よく学び、よく遊び、健康で、楽しく充実した余生を送ろうと思います。

「ちむどんどん」を探して

木谷玲子

学校現場を外側から少しでも支援できればと考え、現在、由利本荘市教育研究所に勤務しつつ、新しい生活スタイルに心と体を慣れさせているところです。

四月の下旬、コロナ禍により三年ぶりの開催となる由利本荘・にかほ退職校長会総会に出席し、懐かしい方々にお目にかかることができ、大変嬉しく思いました。総会後の講演会で米田前教育長様よりお話いただいた「今日は人生で一番若い」を忘れず、「ちむどんどん」することを探しながら、私なりに小さな挑戦を重ねていきたいと思っています。

大曲仙北

よろしくお願いします！

千葉雅一

可能性を秘めたすばらしい子どもたち、学校の教育活動にとっても理解のある保護者の皆さん、学校を一生懸命応援してくれる地域の方々、そしていつも私を全力で助けてくれた思いやりのある同僚職員のおかげで、大過の無い充実した校長時代を過ごさせていただきました。こんな私でも、やはり退職して迎えた令和四年四月一日にはどこか解放された気分になったことから、改めて校長職の責任の重さに気付かされた次第です。今後は退職校長会の皆様と秋田県教育のさらなる発展と健やかな子どもたちの成長を祈るばかりです。

教職のやりがい伝えたい

櫻尾晴海

NHKの「クローズアップ現代」で、教員不足の問題が取り上げられていた。とある中学校では、七十三歳の方が教壇に立っていた。退職後、気力体力の低下を自覚する私は、十数年後に教壇に立つことなんてとてもできそうにないと思いながら、テレビを見ていた。

教員不足を解消するには、教師の負担軽減や、再任用の活用など様々な方策が必要であろう。微力ながら私にできることといえば、自分自身が現役時代に感じた教職のやりがいを機会あるごとに伝え、教師になりたいと思う人を一人でも増やすことくらいだろうか。

横手市

セカンドライフ移行期間

菊池康明

先日、横手在住の大学の同級生（女性）から「当時の仲間と自宅ガレージでBBQをする」と、お招きいただきました。そこでは本会の先輩でもある旦那様が、自分で採った山菜。畑で作った野菜、おまけに山で猟をした鹿肉を振る舞ってくれたのでした。昔から先輩の多芸多才を存じ上げてはいましたが、改めて自分の無芸大食（退職）を痛感！

四月から、初任者指導の仕事をしております。完全退職まで少しだけ時間の猶予があるので、セカンドライフについて諸先輩から勉強させていただきたいと思っています。

「恩返し

高瀬典穂

新型コロナウイルス感染予防対策による生活の変化と、GIGAスクール構想など教育現場の大きな改革のなか、諸先輩方や職員、保護者や地域の皆様方に支えられ、なんとか三十四年間の教職員生活を全うすることができました。四月からは、これまでの「恩返し」になればと、スクールガードリーダーとして子どもたちの安全安心のお手伝いと、実家の神社の神主として、皆様方の心の安寧のためご奉仕させていただいています。

この度の「旭交会」の一員に加えていただきました。どうぞよろしく願っています。

湯沢雄勝

新たな生活に挑戦

阿部 洋 一

三月末に定年退職し、校長として四年間小学校に勤務しました。校長二年目の冬に始まった新型コロナウイルス感染症。退職するまで対策に頭を悩ます日々でした。しかし、なんとか無事に責務を果たし、ほっとしております。今は、野菜作りや趣味の時間をもつなど、これまでじっくりとできなかったことに少しずつ挑戦して過ごしております。これからは退職校長会の一員として諸先輩方から生活の楽しみ方をご教示頂き、様々なことに挑戦していきたいと考えております。どうかよろしくお願いいたします。

お世話になります

阿部 桂

たくさんの方々にお力を貸していただき、この三月になんとか無事に退職することができました。しかし、自由人初日、急に野に放たれた感覚に陥り、何をしたいのか全く戸惑うばかりでした。退職校長会に入会させていただき、同じ職を全うした先輩の皆様から現場への協力はもとより、生活に潤いを与える術や時を慈しみながら充実させていくための指針を与えていただけたら幸いです。

よろしくお願いいたします。

早く一献傾けながらアドバイスをいただける日が来ることを心より待つております。

現職&退職校長会の主な動き

現職校長会情報

(1) 秋田県小・中学校長会定期総会

五月十六日(月)に開催された標記の会は、書面表決で行われ、令和四年度の新役員が次のとおり決まりました。

役職	【小 学 校】		【中 学 校】	
	氏名 (校名)		氏名 (校名)	
会 長	鎌田 悟 (桜)		加賀谷 亨 (山王)	
副会長	北嶋 尚子 (保戸野)		嶋崎 公人 (秋田東)	
"	成田 勇信 (十和田)		佐藤 克 (能代第二)	
"	戸田 信彦 (大豊)		土倉 新也 (本荘南)	
"	佐藤 芳一 (湯沢西)		高橋 成浩 (横手南)	

小・中学校長会長には、鎌田悟氏が選出されました。

なお、同日に行われていた退会会員感謝の会は令和四年度より開催しないこととしました。令和三年度末に退職を迎えられた会員は全県で七十七名です。

(2) 秋田県小・中学校長研究大会

標記の会が次のような日程・概要で開催される運びです。

日時 令和四年八月十八日(木)

会場 秋田県総合教育センター・秋田県自治

研修所

主題 「未来に向かって夢はばたかせ、

たくましく生きる児童生徒の育成」

右記主題のもと、午前は開会式及び講演会、午後からは小学校4分科会、中学校は3分科会が行われます。

講演 演題『夢を夢としない』

講師 映画監督・CMディレクター

成 田 洋 一 氏

なお、本年度の研究大会は、現職会員だけで開催することとしました。

(3) 本年度の東北大会(小・中)

◆東北連合小学校長会研究協議会岩手大会

日時 令和四年七月七日(木)～八日(金)

会場 盛岡市民文化ホール

主題 「自ら未来を拓き、ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

学校教育の推進」

◆東北地区中学校長会研究協議会宮城大会

日時 令和四年六月二十四日(金)

会場 TKPガーデンシティPREMIUM仙台西

(参加者はZOOMによるWeb協議)

主題 「新たな時代を切り拓き、よりよい社会を形成していく日本人を育てる中学校教育」

学校教育」

退職校長会情報

(1) 郡市会長・事務局長

合同の会

七月九日(土)、三年ぶりに各郡市の会長、事務局長が一堂に会して、標記の会が秋田市の協働大町ビルを会場に開催されました。コロナ禍における制限された活動内容や新入会員の加入状況等、各地区の現状や課題の情報交換がなされました。

会議での協議の概要をお知らせします。

- ① 第42回秋季研修大会について(11頁に掲載)
 - ② 地区退職校長会の現状と課題について
 - ③ 「あきた教育の日」について
 - ④ 理事会の成立条件について
 - ⑤ 会費等の振込方法について
- なお、協議した内容の一部ではありますが、地区退職校長会の現状と課題について概略をまとめました。



地区退職校長会の現状と課題

鹿角

- ・ コロナ禍の下、ほとんどの事業を中止せざるを得なかったため、退職校長会として成果があった活動はできていない。
- ・ 退職校長会主体の取り組みではないが、退

職教員と地域・家庭が子どもの学びや成長を支える取り組みとしてスタートした「地域学校協働活動」に本会会員も共に取り組んでいる。

大館北秋田

- ・ 会員の状況は、加入数を上回る「逝去者や転居等による途中退会者」の増加が見られ、全体として減少傾向にある。役員改選時や地区理事の選出に苦慮している。
- ・ 会員が一堂に会する機会である「総会」と「研修会」の充実を図っている。また、現職校長との合同研修会は三年ごとに開催。年一回発行の会報で、会員の声を多く知らせることに努めている。

能代市山本郡

- ・ 【現状】事務局関係の諸会合は、年間計画どおりに開催し、県退職校長会や本会の活動状況の把握に努めている。
- ・ 【成果】退職者の全員加入が続いている。(前年度末に退職予定者宛に入会に係る勧誘文書を送付したり、幹事が分担して勧誘の声掛けを行ったりしている)
- ・ 【課題】コロナ禍の影響でここ三年間、本会の目的の一つである「会員の親睦を深めること」ができていない。

男鹿市

- ・ 新型コロナウイルス感染症により、昨年度は、現職校長との研修会が開催できず、これといった成果はない。

秋田市

- ・ 入会会員の減少への対策として、会報「掬水」の現職校長への配布、二月の現職校長会での退職校長会への入会案内、電話による入会案内等を行っている。

- ・ ここ二年間、コロナ禍で合同の教育懇談会が開催できず、現職校長会と接点を持ってないことが課題。

由利本荘・にかほ

- ・ 各学校のコミュニティ・スクールの学校運営協議会委員、子ども見守り隊の一員、教科指導等のボランティアとして支援している。
- ・ 再任用者の増加と高齢化のため、人材バンクへ新たに登録する会員が減少している。

大曲仙北

- ・ 年会費の支払いは、郵便局振込の手数料が高くなったため、来年度からは、赤色振込用紙とし、送料は会持ちとする。
- ・ 地区会員向けの広報は、インターネット印刷に移行し、編集等を事務局員で行うことにより、経費が従来の五分の一で済み、内容も充実し、全面カラー刷りとなった。
- ・ 二年間コロナ禍で新人歓迎会も総会もなく、入会の意味を見いだせない方もいると思われる。会合をもつてお互いの生活や仲間との交流に重きを置いた会の在り方を復活することで入会のよさを取り戻したい。
- ・ ゴルフ同好会は、年々ゴルフ人口が増え、年二回のG・C・U・Pを楽しみにしている会

員が増えている。囲碁同好会は廃止した。

横手市

・コロナ禍でここ数年対面での会がほとんど持っていない。コロナが落ち着いて色々な会が持てるようになった場合、出席者の減少が考えられる。出席者の減少に歯止めをかける工夫が必要になってくる。

・本市で退職を迎えた方の多くは入会していただいているが、本市在住で他市町村で退職された先生の入会は皆無なので、入会を促していきたい。

湯沢雄勝

・毎年同じような内容で会を運営している。入会者に入会して良かったと思えるような相互の研修や懇親を深める会などを順次計画していきたい。

(2)全国連合退職校長会理事会・総会

六月七日（火）に標記の会が東京「スクエア荏原」において開催され、高橋会長が出席しました。例年、第一日目「理事会」、第二日目「総会」の二日間開催で行われておりましたが、本年度は感染症拡大防止の観点から自粛措置として、理事会・総会が一日開催となりました。

(3)第48回東北地区退職校長会協議会岩手大会

日時 令和四年十月十三日～十四日

会場 盛岡市「盛岡つなぎ温泉ホテル紫苑」

主題 「充実した生き方や地域の教育・文化

の向上に資する活動はどうあればよい
か」

第42回秋季研修会開催案内

【日時】 令和四年十月二十二日（土）

午前十時二十分～

【会場】 秋田市協働大町ビル

【主題】 「退職後の生きがいや

在り方をもとめて」

【日程】

開会式 10時20分～10時45分

講演 10時45分～11時55分

講師 株式会社IMIポルミート

代表取締役

タベルスキ・マイケル氏

演題「 未定 」

発表 12時～12時30分

担当地区 湯沢雄勝退職校長会

発表題及び発表者は検討中です。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によって
秋季研修大会が開催できない時は、会報
100号（令和五年三月発行予定）で紙上発
表する予定です。

※当日は会員同士の親睦を図りながら、長
寿社会に対応した生き方を研修したい
と思います。会員の皆様のご参加をお願
いいたします。

会員のご逝去（敬称略）

心からご冥福をお祈りいたします。

（98号以降）

氏名 年月日 住所

柳谷 祐吉 3・11・9 鹿角市花輪

工藤 庸 3・11・28 北秋田市大町

高橋 重敏 4・2・22 北秋田市元町

山田 信雄 4・3・30 大館市上町

畑江 昭三 3・4・20 秋田市新屋

鈴木 昌 4・1 東京都小金井市

小田原禎行 4・3・23 秋田市手形

木曾ひとみ 4・4・17 秋田市土崎

木村 弘亮 4・4・23 秋田市土崎

佐々木庄悦 4・6・7 秋田市桜

佐藤 潜 4・4・5 にかほ市金浦

小松 俊 4・4・28 仙北市西木町

鎌田 輝雄 4・6・10 大仙市協和

古尾谷 徹 4・6・9 横手市上内町

千葉 剛道 3・9・17 湯沢市関口

麻生 悟朗 3・10・19 湯沢市愛宕町

会員の寄稿

花作り



鹿角

大澤 宏子

仕事を離れてから、私は花作りに励んでいます。ものを創造することで、コロナ禍の中でも、心の平静を保つことができました。

花作りには天候が大きく影響します。今年も寒い日や猛暑の日が目まぐるしく移り変わり、突然の雨や強い風が吹いたり、その都度どうするかを考える試行錯誤の日々が続いています。太陽と風を求めて花々を南側へ動かし、寒さ対策のため、朝と夕方には屋根のある場所へ鉢を移動します。

サフィニア、ペチュニア、カリブラコアなど五十鉢が我が家の前に咲き誇っています。今年は五号鉢の小さい鉢に植え付けて根を充実させてから大きな鉢へ植え替えるという、二段階で花作りをしており、昨年より大きな花を咲かせています。

現役の教員の頃には花壇の作業を担当者にお任せしておりましたので、こんなに自分が花作りにはまるとは思ってもいませんでした。毎日、鉢の配置を考えたり、花がらを摘んだり、気付かないうちに時間が過ぎてしま

います。来年には新しい花を育ててみたいという夢も広がっています。作業を終えた後は心地よい風が吹き、充実したときを過ごしたことを実感します。

花作りを通して近隣の人たちとの交流も深まりました。見知らぬ方々に声をかけてもらい、花談義で盛り上がったたり、たくさんの方々と知り合いになれたことも収穫です。花作りという私の新しい趣味の世界が広がりました。これからも花作りを通して心豊かな日々を過ごしたいと思っています。

(平成二十八年三月退職)

コンパクト観光都市大館



大館北秋田

河田 和 徳

五月に潟上市に住む教え子から、大館市の十ノ瀬藤の郷に藤の花を見に行くので、見学後、会えますかと手紙が届いた。大館駅前の花善で待ち合わせをして、鶏めし御膳をおいしく食べた後、近くの秋田犬の里に案内した。ガラス越しの対面ではあったが、可愛らしい姿を見て喜んでいた。その後、隣の広場に設置されている渋谷区から贈られた電車通称「青ガエル」を見学した。

次に、二キロ程離れた市中心部にある、国登録有形文化財桜櫓館(旧大館町町長桜庭家

住宅)を訪れ、昭和初期の本格木造建築の技術の高さを堪能した。そして、秋田犬会館で再び秋田犬を見学し、リニョールオーブンした石田ローズガーデンのカフェで薔薇ソフトクリームを食べ、まだ蕾のバラ園を散策。

最後に、桂城公園のシンボルツリーである日本最大級のシロヤナギ(樹齢推定二〇〇年、座高二十一メートル、幹周五・七メートル)を見て、その迫力に感動していた。教え子たちは、自分たちの知らなかった名所を案内してもらい、とても楽しかったと約四時間の観光を終え、満足して帰宅した。

大館市は四方を山に囲まれた盆地であり、今述べた観光名所以外にも、近距離に見所がたくさんある。食も、きりたんぼ・比内地鶏・トンブリ・タケノコ・梨・林檎・そばなど豊富である。曲げわっぱ作りも体験できる。今度またこういう機会があったら、時間に応じたコースを設定し、案内したいと思っている。『コンパクト観光都市大館』を少しでも多くの人にアピールできればと思っている。

そう言えば、大学卒業後の就職先として、教師ともう一つツアーコンダクター(添乗員)を目指して、勉強したことを思い出した。

(平成二十七年三月退職)

「番楽」指導に携わって



能代市山本郡

近藤 和雄

平成二十八年から地元琴丘小学校で、郷土芸能の指導をしている。今年も指導の依頼があり、七年目となった。六年生対象で、十月の学習発表会での発表を目指し、六月から週一回の指導を行っている。発表会では、児童の希望により舞手と囃子手に分け、全員が活躍できるように配慮しながらの取組である。

住まいする地域に、四百年以上前に伝わったとされる郷土芸能「中館番楽」がある。保存会に関わるようになって、三十五年ほどになった。とは言っても、自分では舞を舞った経験はない。保存会の練習は盆前の十日間ほど。何もできないが見ているだけでもと参加しているうちに、舞の流れや所作の間違いが分かるようになってきた。囃子も一通り覚え、下手ではあるが笛も鳴るようになった。門前の小僧習わぬ経を覚え、とはよく言ったもの。

琴丘中学校の文化祭でも「番楽」を取り上げてくれている。小学校の時覚えた生徒の中で、希望者が舞うのである。夏休み中に何回か指導にでかけるのだが、舞手も囃子手も、よく覚えてくれている。しかも、練習中も笑顔が絶えず、とても楽しそうだ。様々な分野で、少子高齢化による後継者不足が今、言わ

れている。指導した子どもたちの中から、後継者が育ってほしいと願わずにはいられない。

「始めるのは難しい。続けるのはもっと難しい」とか。続けるためには楽しくなくてはいけない。「番楽」の指導に出かけ、そのことに改めて気付かされた。そして、もっと若いときに気付いていたらなあと思う。授業や学級経営、部活動。自分が関わった子どもたちは、楽しい思い出を築けていただろうか。

残念ながら、聞くのはちよつと自信がない。

(平成二十五年三月退職)

ささやかな喜び



男鹿市

鈴木 雅彦

健康維持とメタボ予防のために、ささやかな精進ではあるが、四年前から早朝ウォーキングを始めた。雑木林や畑の間を通る道に沿って公園まで行くコースで、所要時間は片道二十分ほどである。

ひんやりとした朝の空気は心地よく、鳥のさえずりにも癒やされ、気分は爽快だ。春・夏・秋と季節の移ろいを目と耳と肌で感じ取りながら、ウォーキングを楽しんでいる。

ウォーキングを開始して四ヶ月後、その効果が判定される時が来た。それは、これまで何度となく要精密検査の封筒を頂戴していた人間ドックである。ウォーキングと併せ、今まで以上に体調管理にも気を配ってきたことから、大きな期待を抱いて受診した。

受診後に医師から検査の結果が渡されたが、体脂肪率をはじめ脂質や肝機能に関する結果は、無残にもすべて許容範囲を超えていた。

そこで、一年目の後半からは、平日に加え、土・日もほぼ休まずウォーキングを続けることにした。

しかし、ウォーキングを開始して二年目の人間ドックも無情な結果であった。一年目よりは若干数値は下がったものの、許容範囲に収まるものは一つもなかった。

そして三年目、やっと成果が現れた。体脂肪率と脂質に関する検査の結果が、すれすれではあるが、許容範囲内の数値となった。ささやかな喜びである。

還暦を過ぎると、これまで以上に心配になるのは自分の健康である。

この後も、季節の変化を楽しみながらウォーキングを続け、ささやかな喜びを増やしていきたい。

(平成二十七年三月退職)

「教師のバトン」プロジェクト



秋田市

今田 智 範

若い世代に教師の魅力伝えようと、文部科学省が現職教員に交流サイト（SNS）への投稿を呼びかける「教師のバトン」プロジェクトがある。残念ながら投稿の内容は、厳しい労働環境の改善を訴えるものが多く、学校の未来に向けてバトンを繋ぐためのプロジェクトにはなっていないようだ。

退職後、秋田大学に勤務し二年目となった。教職を目指す学生に、教員採用試験への対応も含めて、様々な教育実践における課題を取り上げてその解決策を主体的に考えさせるゼミを担当している。我々が学生の頃には存在しないゼミである。このゼミのプログラムを考えたのは、教職大学院の立ち上げや運営に努力された多くの退職校長の方々と聞く。解決や対応が難しい教育課題にも、学生が主体的・意欲的に取り組めるのは、このプログラムの内容が充実しているからだと思う。先輩方に感謝している。

ところが、ゼミを受講する学生は年々減少している。教員採用試験を受験するほぼ全ての学生がゼミを受講していることで、教員を目指す学生が減少していることになる。とても残念なことだ。大量退職、大量採用時代となり、教員採用試験の倍率も下がり現役で合格

する学生も多い。希望に胸を膨らませ笑顔で卒業し、学校へと赴任していく。そんな若い教師が、これからも生き生きと働き続けられる環境をつくるために、私たちに何かできることはないだろうか。退職校長会が役に立つことはないだろうか。また、教師の魅力を若者に伝える機会はないだろうか。そんなことを考えながら卒業生を送り出した。教師のバトンは交流サイトでは繋がらないだろう。

(令和二年三月退職)

じいじの独り言



由利本荘・にかほ

永田 修

退職して十年が過ぎました。花のない庭は、春になると少し寂しく感じ、福寿草、カタクリ、シラネアオイを翌年も花が咲くのをしたい（生きていたい）と敢えて花後の株を買って増やし続けました。お陰様で今年はシラネアオイの白花まで見ることができました。豪雪でも雪解け後に芽を出す姿に感激します。

今年は、花を楽しんでいる時期にもう一つ楽しみが増えました。遠くに暮らす長男家に初孫が誕生しました。夕方五時半頃、「五時頃生まれた」と家内のスマホに画像が送られてきました。長男から思っていたのですが

嫁さんからということでは家内と驚いたことを思い出します。コロナで退院まで旦那でも面会できない時世です。誕生後は嫁さんが毎日のように画像・動画を送ってくれ楽しみになりました。送られてくる画像等を見て我慢しきれなくなった家内と一緒に洋服等をお土産に四月中旬会いに行ってきました。僅か三時間の対面でしたが一挙一動を見て満足して帰ってきました。その時「みてね」という家族誰もが見られるフォルダ？を作ってくれ二日に一度の割合で増え続ける画像等を待ちわびるようになり、スマホを持つていない私は「みてね来たが」が家内との挨拶のようになってます。特に送った洋服を着た画像があるとニヤニヤしながら繰り返し再生しているのです。長男から百日食をやりたいと連絡が来たので、車で行く伝えたと車でなく電車で来るよう強い口調で言われました。昨今の高齢者の事故報道を見れば当然かも知れませんが家内と二人でまだ若いのにとブツブツ言いながらも、日に日に成長していく孫との再会を楽しみにし電車で行くことにしました。

(平成二十四年三月退職)



〇〇な大人の社会科学習



大曲仙北

鈴木達朗

早期退職から四年経た昨晩秋、一般社団法人創設へ誘いあり。首謀はK、自分は相方。

「大人の社会科学習。見学、体験必須」を副えてドーパミン噴出。まずは法人登記「定款作成し公証人認証を得て法務局申請」へ。定款案が整い「行くべ公証人役場。竿燈通り」

「善は急げ、明日。見学だ、体験だ」と一直線。到る公証人役場では…。K「定款認証願いに参りました」事務方「事前にご連絡は？お電話やメールは？」俺（あれっ、アポなし、中学生とて基本だべ）K「直接ご挨拶こそ儀礼かと…」俺（これだKの咄嗟弁術、強気は止め、まず謝罪だ）結局「アドレス交換（窓口は俺）、メールで電子ファイルを介して定款修正と事前認証」の指示。さらに「これはお電話一本で済んだことですけどね」の公証人の言葉へ「直接伺えて、不安ななくなり助かりました」と自己弁護にて退散。後、数度の修正指導により定款認証に到達。公証人のメール送信時刻からは（こんな時刻にまだ仕事、もう仕事）と働き方改革とは縁遠い激務を想像し、かつ丁寧で誠実な指導の連続に感謝、感服する新年になりました。

法務局では「登記完了情報は△△庁のHPで確認を…」「えっ△△庁？法務省で

は？」登記完了後、我々は「一般社団法人と法人税」と題すその庁のパンフから数種の書類提出の必要に気付き慌てます。「恐るべき日本税制&管轄官庁・国税庁」を再認識。いつかは法人税を納めるぞ！目指しております。

稿題の〇〇に「未熟や非常識」を付す有様はきつと永続です。自分を閉塞感脱出、社会の学窓開放へ導いた多くの皆様へ、深謝、謙虚の心持ちもずっと添えねばなりません。

（平成二十九年三月退職）

「エンジン」のある生活



横手市

木村哲弥

子どもの頃からエンジンで動く機械が大好きで、バスに乗るといつも運転席のすぐ後ろに陣取り、運転の仕方をまねていました。

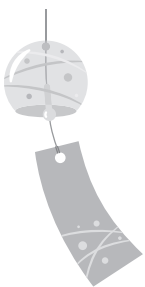
退職後は新しいことに挑戦しようと思立ち、すぐに運転免許を取得しました。大型二種やけん引などに加え、タンクローリーも運転できるようになると危険物取扱者乙4も。ただ、この年齢になると未経験ではなかなか仕事が見つかりません。それでも縁あって、冬期間は除雪ローダーを使って市の雪捨て場の管理を、夏はトラクターでトレーラーを引きながらホップの収穫など、この三年間は免許

を生かした仕事できています。

こうした生活をしていると、教員時代の子どもたちに出会うこともよくあります。あの頃小一だった方と同じ現場でローダーに乗って働いたことも。「木村さん、もっとこうした方がデコボコにならないだ。」「少しはうまくなってきたな。」何しろ経験豊かな会社の先輩ですから、勉強になることばかりです。かつて教えた人から教わることも新鮮です。

エンジンと言えば、若い頃夢中になっていたバイクへの思いを断ち切れず、中古の大型バイクを購入しました。のんびりと走りを楽しんでいます。目的を持ちたいと思い、道の駅巡りをしています。一回のツーリングごとに必ず道の駅を利用し、家にお土産をひとつ買って帰るのがルール。秋田県の全駅を制覇するまでは乗り続けたいと思っています。現在まで県内では28の駅に立ち寄り、残りは5つ。安全第一で目標達成を目指します。まもなくエンジンの多くがEV等にとって代わります。今のうちに心地よい鼓動を体で感じておこうと心がけているこの頃です。

（平成三十一年三月退職）



バイク旅に魅せられて



湯沢雄勝

芦原清巳

退職した年、人生の節目として北海道バイク旅行を決行した。今までに車では二回、周っているが、バイカーとしては初めて彼の聖地を七月に十日間かけ時計回りで一周した。雄大な景色の中、空と大地を独り占めにし、風を身体で受け、その土地の臭いを感じ、颯爽と走る快感は何ものにも代え難い。天気の良い日はキャンプ場でテントを張り、近くの温泉に浸り、ご当地グルメに舌鼓を打ち、雨降りの日はビジネスホテルに泊り、あつという間の気ままなバイク旅であった。

特に道北、サロベツ原野の道道一〇六号線では、利尻富士を仰ぎ、圧巻のストレート道路が三十キロも続く広大な原野の最果て感に、舞い上がってしまった。宗谷岬から猿払村を通るエヌサカ線も十キロのまっすぐな道が、まるで地平線に溶け込んでゆくように感じ、その陽炎に酔いしれた。

道東、野付半島では国後島を眺め、ナラワラ、トドワラを見ながら走る道道九五〇号線は世紀末感が漂い、この世のものとは思えないスケール感だった。道央、上富良野を通る激しくアップダウンを繰り返すジェットコースターの道は思わず、声がでるほどの絶景

おめでとうございます

(順不同・敬称略)

祝 叙 勲

氏名	現住所	功 勞	種 類	受章日
大山 精子	能代市落合	高齢者叙勲	瑞宝 双光章	4・4・1
角崎 義正	男鹿市角間崎	教育功勞	瑞宝 双光章	4・4・29

だった。心身ともにリフレッシュし、北海道の魅力に再々度、取り憑かれた十日間だった。

退職して早六年、コロナ禍までは東北各地を巡ったり、北陸、長野・山梨・静岡、岐阜・富山などへキャンプツーリングを楽しんで来たが、ここ数年は度重なる夏の集中豪雨やコロナの長期化に伴い、専ら県内日帰りツーリングに勤しんでいる。コロナが収束した際には、車重四〇〇キロの愛馬に跨がり、老体に鞭を打ちながら、今度こそ中国・四国・九州ツーリングを決行したいと考えている。

(平成二十八年三月退職)



【あとがき】

会報99号をお届けします。

ウクライナとロシアの争いは、一向に良い兆しが見えてきません。3月12日付秋田魁新報に、潟上市出身のフリーライター小玉説郎氏による「遠い風近い風」21世紀に戦争かよ！」の記事が掲載されていました。

約五ヵ月間、ニュースや報道番組で評論家や研究者から様々なコメントが出されていますが、ひと言「21世紀に、戦争かよ！」。

解決の方向も見えなく、やりきれない思いの中、明快な思いがこのひと言に込められています。自分にできることは、ただただ平和で穏やかな生活が送れることを願うだけです。